

厚岸の林内外における温度資料 (概要)

Michio YAMAZAKI, Yukio KIKUCHI: The Observed Data of Temperature
in the Sea Fog Observation at Akkeshi.

山 崎 道 夫*
菊 池 幸 雄*

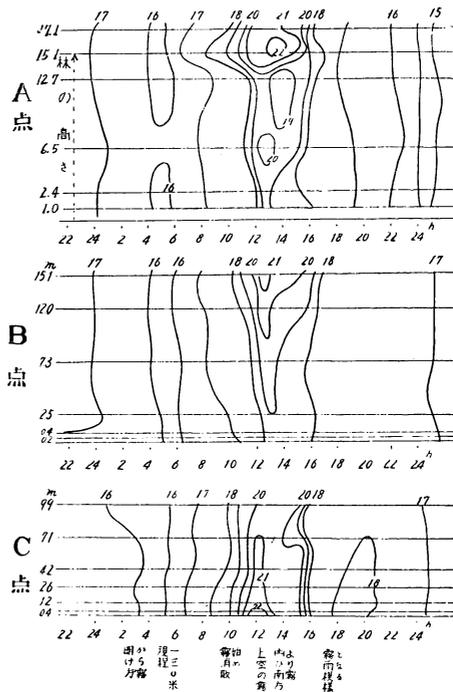
アイカツ岬台地上の A, B 点 (林内) および C 点 (林外) で気温, 地温, 水平日射量の測定を行った。

気温は 7 月 25 日から 8 月 17 日まで水銀抵抗温度計により次の高さにおける連続記録が得られた。

- A 点 1.0, 2.4, 6.5, 12.7, 15.1, 17.1 米
- B 点 0.2, 0.4, 2.5, 7.3, 12.0, 15.1 米
- C 点 0.4, 1.2, 2.6, 4.2, 7.1, 9.9 米

地温は霧のあつた日のみに 0, 5, 10, 20 種の深さの温度を随時測定し, 日射はロビツチ日射計を用いて 7 月 25 日から 8 月 10 日まで測定した。

上記の資料により気温垂直分布のイソプレットを作成し, A, B, C 各点の特徴を, 霧の有無, 日射の有無, 昼夜の別など種々の条件において比較し検討した。そのなかで特に注目すべき事実として, 霧の消散期において, 日射が洩れはじめると林内の梢の高さにおける気温が著しく上昇し, 林が密なる A 点では 4°C 内外, 粗林の B 点でもなお 2°C 内外も高温となること分つた。その一例を第 1 図に示す。霧があるとき, 一般には林内は林外に比し低温であるのが普通で, 地中温度も 20cm の深さで 2~3°C 低くなつている。地面と空気との間の熱授受については目下計算をすすめている。



第 1 図 7 月 27 日のイソプレット

* 札幌管区気象台観測課